土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道375号外道路災害防除工事に伴う測量・地質調査・設計業務委託(単独)

事業名 または 工事名　主要地方道庄原作木線石原地区地質調査

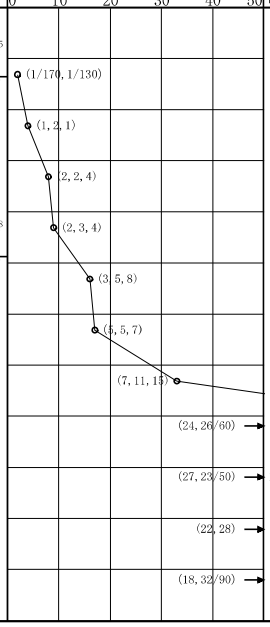
調査目的及び調査対象　道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	15-No.3	**調査位置**	広島県三次市君田町石原地内(No.10+2.0R39.0m)			**北緯**	34° 53′ 13.3″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2021年 3月 4日 ～ 2021年 3月 8日	**東経**	132° 49′ 17.1″
調査業者名		**管理技術者**		**照査技術者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +337.59m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 20°
総削孔長	11.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦DO-DRxS0型
							エンジン ヤンマーNFD10型 **ポンプ** 東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1 2 3 4 5	332.24	5.35		泥岩		黒褐灰～暗黄灰～暗黄褐灰～淡黄灰～淡灰				0.2m以浅は黒褐灰色の腐葉土である。 0.2m以深はシルト状の強風化土で中砂状や角礫～亜円礫状の所が一部である。 0.8m以浅は植根を混入する。 色調が変化する。 4.0m～5.0mは淡黄灰色～淡灰色の中砂質シルト状である。 4.85mは亜円礫状の風化残留核で比較的硬質である。
6 7	329.59	8.00		泥岩		暗灰				固結シルト状（一部で岩片状）の風化土である。 コアは軽打でバラバラになるが、一部で硬質な所が岩片状である。 7.0m以深は岩片状の所が上部より多くなる。
8 9 10 11	326.59	11.00		泥岩		暗灰				固結シルト状～岩片状コアの軟岩Iである。 比較的均質な風化状況であり、岩片状コアの所が比較的少ない。 風化して軟質であるが、岩の組織が残っている。

孔内水位／測定月日：03/05 1.35　03/08 4.87

標準貫入試験 深度－N値図



深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	2	1/170	1/130		2/300		
1.45							
2.15	4	1	2	1	4/300		
2.45							
3.15	8	2	2	4	8/300		
3.45							
4.15	9	2	3	4	9/300		
4.45							
5.15	16	3	5	8	16/300		
5.45							
6.15	17	5	5	7	17/300		
6.45							
7.15	33	7	11	15	33/300		
7.45							
8.10	94	24	26/60		50/160	160	
8.26							
9.10	100	27	23/50		50/150	150	
9.25							
10.10	75	22	28		50/200	200	
10.30							
11.10	79	18	32/90		50/190	190	
11.29							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
	孔内傾斜計		設置・観測	0.00 11.00	3/5 3/8